埋蔵文化財発掘ミュージアム

中世の町を発掘しました！

東区箱崎
箱崎遺跡

蔵と思われる建物跡

筥崎宮（はこざきぐう）近くで、平安～鎌倉時代（約800～1000年前）の蔵（くら）の跡や数多くの井戸などを発掘しました。遺跡からは、多量の中国製の陶磁器（とうじき）や青銅製の小さな仏像、銅銭約100枚などが出土しました。当時の人々の信仰や、盛んな貿易活動がうかがえます。

弥生時代の井戸を発掘しました！

博多区山王
山王遺跡

弥生時代の井戸

山王（さんのう）公園近くで、弥生時代(約2000年前)のムラの跡を発掘しました。ムラからは，食糧を保存する穴や、井戸が見つかりました。地面に井戸を掘って水を得ることを始めるのは、弥生時代からです。この時代の井戸の発見数は、全国的にみても福岡平野が圧倒的に多く、先進的な地域であったことが裏付けられます。

※いずれの発掘調査も終了し、すでに埋め戻されています。

4・5月のイベント情報

4月

15日　志賀海神社 山ほめ祭（県指定無形民俗文化財）

17日　香椎宮奉納獅子楽（県指定無形民俗文化財）

5月

3･4日　博多松ばやし（県指定無形民俗文化財）

17日　埋蔵文化財センター企画展示　（～8月20日まで）
「ひとのかたちと、こころをうつす－絵画と造形の考古学－」

21日　埋蔵文化財センター考古学講座　第１回
「造形と絵画の起源」 講師：春成秀爾氏

博多松ばやし

三福神（さんふくじん）と稚児舞（ちごまい）が福博の各所を訪問してお祝いする行事です。松ばやしは室町時代に京都周辺で流行した年賀行事です。博多では江戸時代に町人たちが三福神に仮装して福岡城で新年のお祝いをし、稚児舞を藩主の前で披露する行事になりました。現在は、５月３・４日の博多どんたく港まつりにあわせて、福博の各所をめぐります。伝統ある行事と、新しい祭りの融合を楽しんでみませんか。

福岡市
経済観光文化局文化財部

住所: 福岡市中央区天神１-8-１
TEL: 092-711-4666　FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・整備・活用に関すること
文化財保護課　TEL:092-711-4666
福岡城跡と鴻臚館跡に関すること
大規模史跡整備推進課　TEL:092-711-4784
埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること
埋蔵文化財課　TEL:092-711-4667
埋蔵文化財センターに関すること
埋蔵文化財センター　TEL:092-571-2921

ホームページ　福岡市の文化財
http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/

歴史の風

ふくおか文化財だより

Vol.1　創刊号

2016年４月号

福岡城（ふくおかじょう）・鴻臚館（こうろかん） 春のみどころ

鴻臚館広場グランドオープン！

今年の福岡城さくらまつりにあわせて、鴻臚館広場が全面公開されました。

これまで広場の南側を公開していましたが、今回、北側の芝張りが完了し、全体を見学できるようになりました。広場にはゴムチップで遺構を表現していますので、ご自身の足で歩いて鴻臚館の大きさを体感することができます。

春のお出かけはぜひ鴻臚館広場にお越しください。さらに知りたい方はホームページまで！

http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/news/detail/103

ここにも遺跡！！

地形を生かした攻防戦　ー三日月山城跡ー

三日月山山頂から

三日月山城跡は、福岡市東区香椎と久山町山田にまたがる三日月山に築かれた山城跡です。すぐ北側には、戦国時代の猛将として知られる戸次鑑連(道雪)・立花統虎(宗茂)親子の居城として有名な九州最大級の山城である立花城跡があり、その立花城を攻める拠点として築かれたと考えられています。

立花山から三日月山にかけては、標高もそれほど高くないため、気軽に登れるハイキングコースとしても人気です。気候の良い季節に、曲輪や石塁、堀切など、地形を生かした攻防戦の跡を探しながらハイキングしてみませんか。

しかさんの用語解説コーナー
曲輪：土塁や堀などで囲まれた城の一区画
石塁：石を積み上げて作った防御用の施設
堀切：曲輪の区画や分断のために尾根などを開削する防御手段

埋蔵文化財センターだより

埋蔵文化財センターってどんなところ？

埋蔵文化財センター外観

福岡市内の発掘調査で出土した遺物や記録類を保管・活用するため、昭和57(1982)年に開館しました。博多区井相田の板付中学校の隣にあります。

収蔵庫

収蔵庫には土器・石器など120万点以上を保管し、いつでも利用できるように管理しています。これらは市民・研究者の閲覧や、他の博物館への貸し出しなどに活用されています。また、市内の小学校への出前授業や、市民向けの考古学講座も開催しています。そのほかに、発掘調査で出土した木製品や金属製品の保存処理作業もおこなっています。

展示室や図書室、バックヤードの見学もできますのでお気軽にお越しください。

展示室

詳しくは福岡市埋蔵文化財センターのホームページをご覧ください。

http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/

アプリを使って見に行こう！

設計者はあの東京駅と同じ！
ー福岡市赤煉瓦文化館ー

天神の街中にたたずむ赤煉瓦の洋館。東京駅などの設計で知られる建築家、辰野金吾らの設計により、明治42(1909)年に日本生命保険株式会社の社屋として建てられました。

小規模ながら尖塔やドームを持つなど変化にとんだ建築物で、赤煉瓦と白の石材の組み合わせは19世紀末にイギリスで流行した様式でもあります。昭和44(1969)年に福岡市に譲渡され、歴史資料館として利用されました。現在は、屋根を天然スレートに替えるなどの保存修理を行い、建築当初の姿をみることができます。1階は「福岡市文学館」、2階は貸会議室ですが、見学は自由です。いまだ残る明治時代の窓ガラスごしに街を眺めてみませんか。

<文化財基本データ>

文化財指定	国指定重要文化財（建造物）
所　在　地	福岡市中央区天神１丁目15－30
指定年月日	昭和44（1969）年３月12日
竣　　工	明治42（1909）年２月末日
アクセス	地下鉄天神駅12番出口から徒歩５分，西鉄バス「天神４丁目」下車すぐ
見学時間	午前９時～午後９時(月曜日及び12/28～1/4休館,祝日の場合は翌日)
入　場　料	無料（会議室使用は有料）

この文化財は，スマートフォンアプリ【福岡歴史なび】の散策ルート「6．近代遺産」に掲載されています。周辺の文化財情報も満載です。まずはアプリをダウンロード！

ダウンロードはこちら